

# 電気関係学会四国支部連合大会原稿見本

## The Writing Sample for the Shikoku-Section Joint Convention of the Institutes of Electrical and Related Engineers

電気 太郎<sup>1</sup> 四国 次郎<sup>2</sup> 連合 三郎<sup>3</sup>  
T.Denki<sup>1</sup> J.Shikoku<sup>2</sup> S.Rengoh<sup>3</sup>  
(電気大学<sup>1</sup>, 情報大学<sup>2</sup>, 通信高専<sup>3</sup>)

### 1. まえがき

論文集は、発表者から投稿された PDF 形式の原稿を原版として、A4 サイズでそのまま CD-ROM 化が行われるため、以下の点に注意して原稿を作成すること。原稿の書き方が不相当である場合は、原版どおりに掲載できないので十分注意すること。

### 2. 原稿の書き方に関する注意

原稿は 1 件あたり、表題、著者名、図や写真、表を含めて A4 版サイズ 1 ページに限る。さらに、CD-ROM の容量制限のため、各原稿の容量を 500kB 以内に制限する。

### 3. 原稿フォーマット

図 1 に、原稿用紙イメージを示す。図のように、原稿用紙の上端 30mm、下端 25mm、左端および右端にそれぞれ 18mm の余白を必ず置く。また、表題欄については、論文番号を記入するために左端 50mm までの間、上端を 45mm にわたり空白を必ず空ける。

原稿はワープロソフトを使用して作成し、あまり小さいフォントをつかわないようにする。なお、文字の色は黒を使用する。

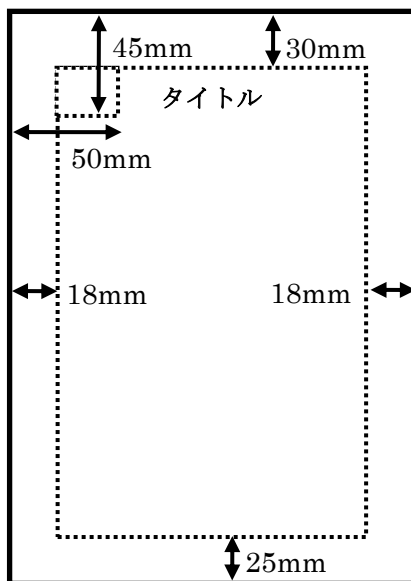


図 1 原稿用紙イメージ

### 3.1. 表題

表題欄は、本文より大き目の文字で原稿用紙の 1 行目から書く。日本語論文の場合は必ず英語表題を日本語表題の下に付ける。

### 3.2. 著者名

表題の下に書く。日本語論文の場合は必ずローマ字の著者名を併記する。その書式は、“名のイニシャル”+“(ピリオド)”+“姓”とする。

### 3.3. 所属

著者が一人の場合は、“氏名 (所属)”のように著者名に続けて所属を書く。著者が複数人の場合は、氏名を書き、行を改めて所属を書く。このとき、すべての所属先を一組のかっこ“( )”で囲み、右肩上付きのアラビア数字でそれぞれの所属を示す。

### 3.4. 使用フォント

原稿内に使用するフォントは表 1 のものに限定する。

### 3.5. 写真や画像

PDF 化することにより、出力品質が劣化することがある。ファイル制限の 500kB 以内で PDF 化する際に、ジョブオプションの値をできるだけ高くして作成する。

### 3.6. PDF ファイルのセキュリティ設定

事務局側で論文番号追加等の作業を行うため、セキュリティ設定はしない。

### 3.7. 参考文献

参考文献がある場合は、引用番号を付けて最後にまとめて列挙する。

表 1 使用フォント

	Windows	Macintosh
日本語	MS 明朝または MS ゴシック	細明朝または 中ゴシック 平成明朝または 平成角ゴシック
英語	Arial, Century, Times New Roman, Helvetica, Symbol	